



済生かなざわ

令和8年 冬号
第150号

石川県済生会金沢病院 〒920-0353 金沢市赤土町二 13-6 TEL (076) 266-1060 FAX (076) 266-1070
E-mail saiseikh-s@saiseikaikanazawa.jp URL <https://saiseikaikanazawa.jp/>

「患者・職員・経営～三位一体の病院づくり～」

石川県済生会金沢病院
事務部長 五十嵐 哲郎



病院経営を考えるうえで、私は「患者満足度」「職員満足度」、そして「経営健全性」は、いずれも欠かすことのできない三つの柱であると考えています。どれか一つだけが突出したり不足したりすると、医療機関としての持続的な発展は難しくなります。三つが相互に作用し、調和しながら前へ進むことで、地域から信頼される病院づくりが可能になります。

まず、「患者満足度」は地域社会から選ばれ続ける病院であるための核となる視点です。安全で質の高い医療提供はもちろん、患者さんに寄り添う姿勢、分かりやすい説明、安心感につながる対応など、人に向き合う丁寧さが求められます。患者さんやご家族の声を真摯に受け止め、改善へつなげる仕組みを整えることは、医療サービスの向上に直結します。

次に、「職員満足度」は病院の力を底支えする基盤です。多くの職種がそれぞれの役割に誇りを持ち、安心して働く環境が整うことで、医療の質は自然と向上します。働きやすい職場環境の整備やキャリア形成支援は、人材の定着と育成を促し、病院全体の活力を高める重要な要素です。

そして、「経営健全性」は、限られた医療資源を最適に活用し、未来への投資を継続するためには欠かせない取り組みです。無駄を省くことが目的ではなく、資源を価値の高い部分へ再配分する判断力を職員一人ひとりが持つことで、病院全体としての経営力が強化されます。この意識が組織に根づくことで、医療機器の更新、人材育成、施設整備といった必要な投資が確保され、結果として患者さんと職員双方に還元されていきます。

三つの要素を適切に組み合わせ、バランスよく育てていくことは容易ではありません。しかし私は事務部長として、現場と経営をつなぐ立場から、三位一体の病院づくりを引き続き推進してまいります。済生会の理念のもと、地域の皆様に安心と信頼を届けるため、これからも努力と挑戦を続けていく所存です。

NASVA介護料受給者交流会



11月21日(金)、NASVA介護料受給者交流会が行われました。NASVA介護料受給者交流会とは、自動車事故により重度の後遺障害を負い介護料を受給している方々やそのご家族が、互いの経験や悩みを共有し、情報交換することを目的とした会です。

荒木院長の挨拶の後、リハビリテーション科 岸谷先生から済生会金沢病院の紹介及び重点支援病院としての特色について、ソーシャルワーカーから短期入院協力事業の取り組みについて、作業療法士から入院施設支援費で購入した物品の紹介とリハビリ機器の実演を行いました。その後、交流の時間として雑談会を行いました。

本交流会は、介護料受給者やご家族が抱える課題や悩みを直にお聴きできる機会となりました。当院から具体的な対応策について情報共有できることもありましたが、引き続き、NASVAや国土交通省との連携を強化していく必要があると感じました。今後も交通事故後遺症者・ご家族への生活支援をすすめていきたいと思います。



人生会議ミニレクチャーを開催しました

済生会金沢病院では「人生会議」の普及啓発活動を行っています。「人生会議」とは、人生の最終段階についてまわりの人々と話し合い、本人の意思決定を共有する取り組みのことで、ACP(アドバンス・ケア・プランニングの略)とも呼ばれます。

12月4日(木)、『“その時がきたら”を今から考えよう！「私の心づもり」人生会議』と題し、龍澤副院長がミニレクチャーを行いました。自身の経験を踏まえながら「人生会議」の大切さと、実際に何をすればよいのかなどお話をしました。

現在、院内の各所に「人生会議」についてのポスターを掲示し更新しています。ご相談されたいことなどがございましたら、お気軽に患者サポートセンターまでお声掛けください。



クリスマスコンサートを開催しました



12月11日(木)、エントランスホールにてクリスマスコンサートを開催しました。

前半は、当院の職員で結成されたゴスペル合唱団【SKHゴスペルクワイア】が『上を向いて歩こう』と『Home ~Grace for all~(※オリジナルソング)』を歌い、前向きになれる歌詞に参加者は元気をもらっているようでした。後半は、こちらも当院の職員で結成されたバンド【SKE(済生会金沢アンサンブル)】が『銀河鉄道999』などクリスマスにピッタリの曲を演奏し、参加者は手拍子や体を揺らしながら聴き入っていました。SKEの演奏後は参加者全員で『ふるさと』を合唱し、会場が一体となりました。

参加者からは「楽しいクリスマスコンサートありがとうございました。晴れ晴れとした気持ちになりました。コーラスとても綺麗でした」と感想をいただきました。



SKHゴスペルクワイア



SKE(済生会金沢アンサンブル)



コンサートの様子

新春民謡コンサートを開催しました



1月7日(水)、令和7年度 民謡民舞全国大会・浦本杯で優勝された当院で勤務される加賀山昭美(芸名)さんによる『新春民謡コンサート』を開催しました。

「越中おわら節」や「こきりこ」など4曲を披露したあと、アンコールで「涙そうそう」も歌いました。当日は、患者さんやご家族、利用者さんなど多くの方がエントランスホールいっぱいに足を運ばれ、美しく力強い歌声に耳を傾けられました。中には涙を流しながら聴いておられる方や、歌が終わった後に「上手かったよー！」を声援を送られる方もおられ、皆さんに大変喜ばれるコンサートとなりました。

フードバンク活動を行いました

済生会金沢病院では、年2回、職員から過剰食品を募り、必要な方々に寄贈する『フードバンク』活動を行っています。今回は令和7年12月15日～令和8年1月16日に募集し、『429点』と大変多くの食品が集まりました。集まった食品は、1月28日にNPO団体フードバンク金沢・能登へお届けしました。この活動で、少しでも安心して暮らすことができる地域社会への一助になればと思います。



防火防災訓練を行いました



1月16日(金)、防火防災訓練を行いました。

今回は、夜間に震度6強クラスの地震が発生し、続いて3階の回復期リハビリテーション病棟の洗濯乾燥室から出火した状況を想定しました。当直医役で医療安全対策室長の山城先生が指揮官となり、被害状況の確認や、火災の発見、初期消火、通報および避難誘導など一連の対応を確認しました。実際にヘルメットやベストを装着すると気が引き締まり、限られた人数の中で迅速に対応することを意識しながら訓練に取り組みました。

訓練終了後は、金石消防署員から講評があり、「火災発生場所に向かって逃げてしまう可能性があるため、火災の発生元を確認してください」などのお話がありました。

令和6年に能登半島地震があり、大規模災害はいつまた起こるか分かりません。不測の事態への備えとして今後も訓練を継続的に実施し、職員の防災意識の向上と、災害時の対応および支援体制の強化に取り組んでまいります。



登録医のご紹介



金沢てらじクリニック

住 所：〒921-8178

金沢市寺地1丁目21番16号

T E L : 076-225-3301

診療科名：内科、腎臓内科、人工透析内科

当院は2025年5月に金沢市寺地で開院致しました。当院は地域の皆様に内科全般から腎疾患、透析療法に至るまで幅広く専門的治療を受けることができる、安心・信頼されるクリニックを目指しております。また当院の透析療法に関してはなるべく患者様にストレスがないよう環境作りを意識しております。また無料送迎も行っておりますので通院が難しくなってきたと思われましたら、当院へご相談していただければと思います。



院長 山本 康隆 先生

地域の内科、腎臓内科として不安なことがありましたら、お気軽にご相談していただければと思います。皆様の健康をサポートできるよう努めてまいります。



一般外来診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00 ~ 12:30	●	●	●	●	●	●
14:00 ~ 17:30	●	●	●	—	●	—

休診日…木・土曜日午後、日曜、祝日

透析診療時間	月	火	水	木	金	土
8:30 ~ 13:00	●	●	●	●	●	●
13:00 ~ 17:30	●	—	●	—	●	—

金沢西泉駅前 まつなが内視鏡・消化器内科クリニック

住 所：〒921-8042

金沢市泉本町7-7-1

T E L : 076-225-5272

診療科名：消化器内科・内視鏡内科・
肛門内科・肝臓内科・内科

2025年11月に開業しました「まつなが内視鏡・消化器内科クリニック」の松永和大と申します。苦しい、痛い、恥ずかしいといった内視鏡検査のイメージからクリニック受診のハードルが非常に高く、検査が遅れてしまう方も多いいらっしゃいます。私どもスタッフ一同は、患者さまがリラックスし内視鏡検査を楽に受けいただけるクリニックを作りあげ、胃がんや大腸がんで亡くなる方を少しでも減らせるよう地域貢献に励みたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



院長 松永 和大 先生



診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00 ~ 12:00	—	●	●	●	●	●
13:00 ~ 18:00	—	●	●	●	●	—
13:00 ~ 16:00	—	—	—	—	—	●

休診日…月曜、日曜、祝日

巻き爪矯正法のご案内

済生会金沢病院では『巻き爪矯正法』を行っています。

巻き爪とは、足の爪が内側へ巻き、皮膚に食い込んだ状態です。巻き爪の原因は色々ありますが、合わない靴や過度な深爪、足変形、歩行不足などがあります。歩行時の痛みや爪周囲の赤み・腫れ(炎症)を伴い、ひどい場合は化膿したり、肉芽(にくげ)を形成することもあります。

当院の巻き爪の施術はポドストライプ法で行います。伸縮性プラスチックプレートを爪の表面に貼り、プレートがまっすぐに戻ろうとする力で巻き爪を緩やかに持ち上げる施術です。痛みが少なく、軽度から重度の巻き爪にも対応可能です。

巻き爪や足のトラブルにお困りの方は、当院のフットケア外来にご相談ください。

巻き爪矯正法をはじめました

方法

●プラスチックプレートを爪に貼り、巻き爪を矯正します。爪の負担が少ない安全な施術です。

※自由診療となりますので、患者さんに全額負担していただくことになります。

費用:1趾1回 7645円(税込)

2趾1回 11,990円(税込)

(プレート代+手技料、管理料、爪ケア料)

実例



プラスチックプレート

石川県済生会金沢病院 フットケア外来

なでしこ出前健康講座



済生会金沢病院では地域貢献の一環として出前健康講座を行っています。当院の医療スタッフが講師として、ご依頼をいただいた公民館・町内会等に出向き、「病気」や「ケガ」などに関する情報提供や、セルフケアに関するレクチャーを行っています。

講座一覧・申込方法などは、当院ホームページをご覧ください。

本講座が当院と地域の方々との交流の場となり、さらに当院を身近に感じてもらうきっかけになればと思います。



なでしこ出前健康講座
QRコード

PICK UP / 家庭でできるフットケア



◇病院理念

『愛と希望と信頼の医療を職員協同で提供し、
地域に貢献する』

済生かなざわ 第150号 令和8年冬号

発行元：石川県済生会金沢病院

〒920-0353 金沢市赤土町二 13-6

TEL (076) 266-1060 (代表)

URL <http://www.saiseikaikanazawa.jp/>